

## 市長の財政方針について

### 1 令和3年度予算編成について

私は平成29年4月に市長に就任し、4年間、市政を預かってまいりました。この間、「さいき7つの創生」を政策の柱とする第2次佐伯市総合計画を策定し、市民の皆様とともに「地域が輝く『佐伯がいちばん』の人・まちづくり」に全力で取り組んでまいりました。

私は、常々「3年種まき、5年で花を咲かせ、10年で実を採る。」と申し上げてまいりましたが、これまでの4年間で、その種まきはおおむねできたものと考えております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症や風水害・南海トラフ地震などの自然災害、人口減少、少子高齢化社会への対応など、本市を取り巻く環境は大きく変化しており、取り組むべき課題も山積しています。

その一方で、財政健全化という課題にも直面しております。現在の本市の財政状況に目向けますと、普通交付税の段階的な縮減等の影響により、平成28年度から収支不均衡が続いており、財政調整基金等を取り崩しての財政運営を余儀なくされております。こうした状況を踏まえ、将来世代への過度な負担を残さない持続可能な財政基盤の確立を図るため、令和2年3月に「佐伯市行政経営推進プラン」を策定し、5年後、

10 年後を見据えた行財政改革に取り組んでいるところでございます。

しかしながら、地方行政を取り巻く環境は依然厳しいことには変わりはなく、特に主たる財源を地方交付税に依存している本市にとっては、人口減少等が影響を及ぼす地方交付税の動向には注視しておかなければなりません。

国が策定した令和 3 年度地方財政計画によりますと、一般財源総額については前年度比 0.5 パーセントの減額となっておりますが、地方交付税については前年度比 5.1 パーセントの増額、また、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債は前年度比 74.5 パーセントの増額となっており、合計で約 3 兆 2,000 億円、16.2 パーセントの増額となっている状況です。

本市の歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により市税のうち市民税が個人及び法人合わせて約 3 億 5,200 万円、市たばこ税が約 4,400 万円の減収を見込んでおり、市税全体では前年度比で約 4 億 1,700 万円、5.6 パーセントの減額を見込んだ予算としております。普通交付税につきましては、先ほど申し上げました国の地方財政計画では増額となっておりますが、人口減少等の影響を考慮し、前年度と同額の 146 億円を見込んでいるところです。

こうした中、令和3年度予算につきましては、「さいき7つの創生」の実現に向けた事業推進と財政健全化の両立を図るべく、事務事業の見直しや事業の選択と集中など聖域なき行財政改革により、徹底した歳出予算の削減を図る一方で、市民のニーズにあった真に必要な事業につきましては可能な限り予算措置をしたところでございます。

## 2 令和3年度予算の概要について

令和3年度の一般会計予算の総額は、410億6,700万円であります。また、特別会計予算の総額は214億8,459万9,000円、企業会計予算の総額は52億9,449万2,000円であります。

このうち、「令和3年度佐伯市一般会計予算」につきまして、その概要を「さいき7つの創生」に沿って、御説明いたします。

### (1) 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生

本市の豊かな自然環境を活用し、「日本一の花のあるまちづくり」を基本理念に花を通じた市民総参加による美しい地域環境づくり、市内外から訪れた方々が四季折々の花を楽しめる花の名所づくりや祖母・傾・大崩ユネスコエコパークにおける小学生を対象とした自然観察・体感事業、市内外に向けた情報発信、誘客促

進事業等に取り組んでまいります。さらには、「佐伯市緑の基本計画」に基づき、公園が不足している八幡地区に新たに公園を整備します。

また、災害に強いまちづくりへの取組としまして、本年度中に長島地区に完成予定の人工高台への避難経路ともなる女島橋の架け替えの早期完成に向け、引き続き事業推進を図ってまいります。そのほか、防災・行政ラジオの普及促進、消防署東部分署の建設、上浦派出所の移転整備及び令和6年度から県内共同運用の開始が予定されております消防通信指令システムの整備に取り組んでまいります。

## **(2) 暮らしと産業を支える生活基盤の創生**

中心市街地の活性化を図るため、昨年10月31日に開館した「さいき城山桜ホール」を中心に、市民・地域を巻き込んだ多種多様なイベントを展開し、にぎわいの創出と市民活動の活性化を加速させたいと考えております。あわせて、中長期的な中心市街地の在り方を示した「市街地グランドデザイン」の推進に向け、クラウドファンディングを活用した民間の活力・知恵による魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

また、道路インフラにつきましても、馬場常盤線街路事業に新たに着手するほか、国の交付金や合併特例債等を活用し、市内一円の道路・橋梁の整備に継続し

て取り組んでまいります。

### **(3) 健康で安心して暮らせる共生社会の創生**

新型コロナウイルス感染症対策の重要な柱であるワクチン接種につきまして、市民の皆様ができるだけ早期に、安心して接種していただけるよう必要な体制の整備にしっかりと取り組んでまいります。

また、障がいのある方や認知症の方々の権利を守り、安心して生活できるよう支援する「成年後見支援センター」を開設し、地域で支える福祉活動の推進に努めてまいります。

子どもたちが健やかに育つまちづくりにつきましては、「さいき城山桜ホール」内の子育て・子育て支援室「さくらっ子」を地域における子育て支援の拠点とし、子育て世代の負担軽減を図るとともに、子育て世代包括支援センターの運営や産後ケア事業により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行ってまいります。このほか、待機児童の解消を図るための保育士の確保に向けた事業にも引き続き取り組んでまいります。

### **(4) 人が学び、人が生き、人が育つ教育の創生**

児童・生徒の学力向上に向けた「学びに向かう力」の育成と「わかる授業」の実践を図るため、専門的な講義による教職員の資質向上や学力定着状況調査の実

施、学校における ICT 環境の整備、英語検定受験に対する支援、学校を核としたふるさと創生事業等による地域とともにある学校づくり等に取り組んでまいります。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により学習の遅れが懸念される子どもたちの学びの保障のため、引き続き学習指導員の派遣を行ってまいります。

また、本市における文化芸術の基本理念を定めた「佐伯市文化芸術振興計画」を策定し、多彩な文化芸術に触れる機会の拡充や文化芸術活動に取り組むための環境整備を進めてまいります。

このほか、生涯学習の拠点となる公民館の整備につきまして、老朽化した青山地区公民館の建替えを行うこととしております。

#### **(5) 地域資源をいかした産業と観光の創生**

農林水産業の振興につきまして、まず、農業につきましては、新規就農者等が行う施設整備等への支援や企業参入などによる担い手不足対策を行ってまいります。現在、蒲江畑野浦地区及び米水津色利浦地区において、企業参入により、耕作放棄地をレモン等の高収益作物の栽培用地として活用するための整備を進めているところでございます。また、農業経営の効率化や農業競争力の強化、食品企業と連携した産地づくり等にも取り組んでまいります。

林業につきましては、国からの森林環境譲与税を活用し、適切な経営管理が行われていない未整備森林の解消や森林整備等を促進し、健全で適正な森林管理を行ってまいります。

水産業につきましては、養殖業におけるコスト削減を図るため、スマートフォン等で遠隔操作が可能なICT型自動給餌機、ヒラメ等の陸上養殖施設における最新型の酸素発生機やLED照明設備の導入に対する支援を行ってまいります。また、赤潮被害の軽減ために開発した赤潮対応型マグロ養殖生け簀の有効性の検証を引き続き行ってまいります。

観光産業の振興につきましては、さいきツーリズム戦略に基づく食や自然をいかした観光プロモーションの展開、スポーツ・文化大会の開催・合宿の誘致等による国内誘客の推進やクルーズ船の誘致等に取り組んでまいります。

## (6) 人が交流し、活力あふれるまちの創生

市民が幅広い分野で学び、高次元の魂を持った<sup>さいきびと</sup>佐伯人として、クオリティの高い市民生活を実現するために創設された佐伯市民大学「令和四教堂」を通じて、市民協働のまちづくりを担う人材の育成に取り組んでまいります。

また、移住者への居住支援や地域おこし協力隊の定

住支援等による移住・定住の推進、「食」を核としたまちづくりの推進にも取り組んでまいります。

### (7) 地域が輝くまちの創生

各地域の特色をいかし、人口減少や高齢化の著しい地域の活性化、地域住民の安全・安心、伝統芸能・伝統文化の保存と継承等を佐伯創生推進総合対策事業等により取り組んでまいります。また、蒲江地域において、旧蒲江振興局跡地に離島航路利用者のための公衆トイレ及び駐車場を整備します。

このほか、市民サービスの充実を基本とした効率的・効果的な行財政運営を行うため、庁内会議のペーパーレス化や WEB 会議、行政手続のデジタル化等による行政事務のスマート化を推進してまいります。

以上が令和 3 年度一般会計予算の概要でございます。